

## 沖縄ブロック道路案内標識の改善について

### 記者発表資料

沖縄ブロックの道路案内標識につきましては、国際化の対応に向けて英語（ローマ字）表示を行っておりますが、同一地点における表示の不統一や不適切な英語表記が見られることから、改善を図るべく、検討を行ってきました。

また、増加する観光旅行者へのニーズ、観光立県沖縄としての立場から著名地点を選定し、ピクトグラム（絵文字）を設置し、地（背景）のデザイン及び図のデザインともに改善が必要との指摘をうけ、改善を図るべく検討を行ってきました。

さらに、著名地点の案内について国道・県道・市町村道との連携が不十分なことから、改善を図るべく検討を行ってきました。

今回、以下の基準（案）について沖縄県内の道路標識の整備を行う際の基準としてとりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 道路案内標識ローマ字表示基準（案）
2. 道路案内標識標準ピクトグラム（案）
3. 著名地点案内システム（案）

平成 1 5 年 3 月 2 6 日

沖 縄 総 合 事 務 局  
沖 縄 県  
日 本 道 路 公 団

問い合わせ：沖縄総合事務局 開発建設部 道路管理課（電話 861 - 4911）  
道路管理課長 高良（内線4411）  
課長補佐 玉城（内線4412）

## 道路案内標識の改善について

### 1. 道路案内標識ローマ字表示基準（案）について

#### 1.1 道路案内標識ローマ字表示基準（案）の位置づけ・経緯

沖縄総合事務局・沖縄県では、外国人観光客へわかりやすい道路案内標識とするため、「道路標識設置基準・同解説（昭和62年1月）」に基づき英語表記（ローマ字）を日本語と併記してきました。道路案内標識は同基準に基づいて標記されているものの、同一地点の英語表記（ローマ字）が異なる道路案内標識や、固有名詞（ローマ字）と普通名詞（英語）の範囲が不明確などの混乱を生じています。

このような現状から、上記の基準に具体的な英語表記（ローマ字）手法を「基準」として追加し、「沖縄ブロック道路案内標識ローマ字表示基準（案）」としてとりまとめるため、国、県、日本道路公団の道路管理者をメンバーとした「沖縄ブロック道路標識適正化委員会」や学識経験者および道路利用者をメンバーとした「道路案内表示検討会」で検討してきました。

今回、この基準（案）がまとまり、本島・離島を含めた著名地点や目標地、地点及び交差点の英語表記（ローマ字）の改正案を設定しましたので公表いたします。

#### 1.2 現状の英語表記（ローマ字）と改正案の例

##### 本島

著名地点名	現況(平成13年3月現在)	改正案
平和祈念公園	Peace Prayer Park Peace Memorial Park	Heiwakinen Memorial Park
今帰仁城跡	Nakijin Castle Ruins	Nakijin-jo Site * 世界遺産登録名に準ずる。
座喜味城跡公園	Zakimi Castle Ruins Park Zakimi Castle Site Park	Zakimi-jo Site Park * 世界遺産登録名に準ずる。
大里城趾公園	-	Ozato Castle Site Park
那覇市牧志第一公設市場	Naha City 1st Makishi Public Market	Makishi Public Market
国際通り	Kokusai-dori Kokusai Street	Kokusai Street
福州園	Fukushu-en	Fukushuen Garden
万座毛	Manzamo	Cape Manzamo
沖縄こどもの国	Okinawa Kodomo no Kuni	Okinawa-kodomo-no-kuni Zoo

##### 離島

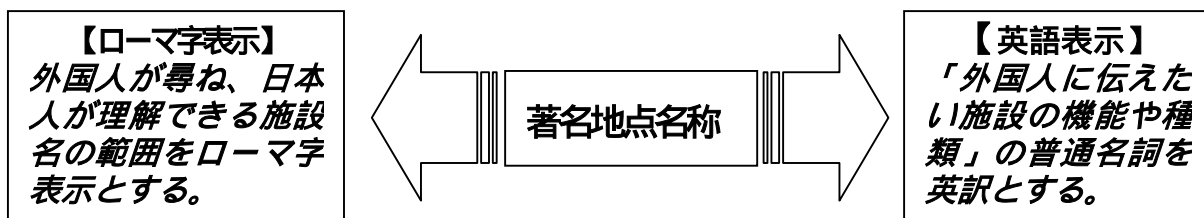
著名地点名	現況(平成13年3月現在)	改正案
五枝の松	Goedanomatsu(Old Pine)	Goeda Pine Tree
立神岩	Tategamiwa Viewpoint	Tachigamiwa Crag
通り池	TORIIKE	Toriike Sea Passage

### 1.3 本基準（案）のポイント

以下の図に示すように、施設名の中の普通名詞の英訳の範囲は、日本人と外国人との意志の伝達の難易や、外国人の著名地点施設の機能・種類の把握の難易に影響します。しかし、外国人旅行者は施設の機能・種類が解説された観光ガイドブックを携えて行動することと、道路案内標識はドライバーが移動しながら確認し、瞬時に判断しなければならない事により、本基準においては著名地点の名称を

1. 外国人に伝えたい施設の機能・種類を表す最小限の普通名詞を英訳
2. 日本人が呼称とし認識できる範囲をローマ字表示

とするローマ字表示の提案を基本方針として設定しました。



例) 野鳥の森自然公園

**日本人が理解できる表示**  
外国人に伝えたい施設の機能や種類を【自然公園】として英訳し、【野鳥の森】は固有名詞としローマ字表示とする。

**外国人にわかりやすい表示**  
外国人に伝えたい施設の機能や種類を【野鳥の森】【自然公園】の全てとし、施設名称全体を英訳とする。地名等の固有名詞も英訳としてローマ字を用いる。

は英訳

野鳥の森 自然公園  
Yacho-no-mori Nature Park

野鳥の森自然公園  
Bird Forest Nature Park

(はい)

ローマ字表示の量  
外国人に尋ねられた時  
日本人に意味が分かりやすいか？

(いいえ)

(NO!)

英訳の範囲の量  
外国人が日本人に尋ねなくても、施設の意味が分かりやすいか？

(YES)

## 2. 道路案内標識標準ピクトグラム（案）について

### 2.1 道路案内標識標準ピクトグラム（案）の位置づけ・経緯

わかりやすく親しみのもてる案内標識とすることを目的とし、また「九州・沖縄サミット」の開催に配慮してピクトグラム(絵文字)を作成し、試行的に道路に設置してまいりましたが、一般道路利用者を対象としたアンケート調査等より、走行中の車両から認識するピクトグラムとしては、理解度、視認性ともに問題があり、地(背景)のデザイン及び図のデザインともに改善が必要との指摘を受けました。

そのため、理解度、視認性の向上とともに沖縄らしさの表現を検討し、「道路案内標識標準ピクトグラム(案)」としてとりまとめるため、「沖縄ブロック道路標識適正化委員会」やデザインの専門家や道路利用者をメンバーとした「道路案内標識ピクトグラムデザイン検討会」で検討してきました。

今回、この標準ピクトグラム(案)がまとまり、地の(背景)のデザインに、沖縄らしい独自性をアピールできる上下2色合わせの配色を設定するとともに、理解度、視認性について向上を図ったピクトグラムを公表いたします。

### 2.2 沖縄らしい独自性のある地(背景)のデザイン

沖縄では、独自の自然、文化、風土、また南国の気候の影響もあり原色が違和感もなく日常生活に馴染んでいます。また、観光客の印象としては沖縄の色は青、または赤であり豊かな自然と温暖な気候がイメージとしてあると思われます。

今回の地(背景)のデザインは、これらを踏まえて沖縄の「自然や人」をコンセプトに沖縄の地域性をイメージした「海や空=希望」の青、「大地=癒し」の緑の上下2色合わせの配色が図との配置バランスがよく、赤系統の配色よりも視認性が高く、標識板との調和がとれ、かつ他県には見られない沖縄の独自性をアピールするものとして採用しました。

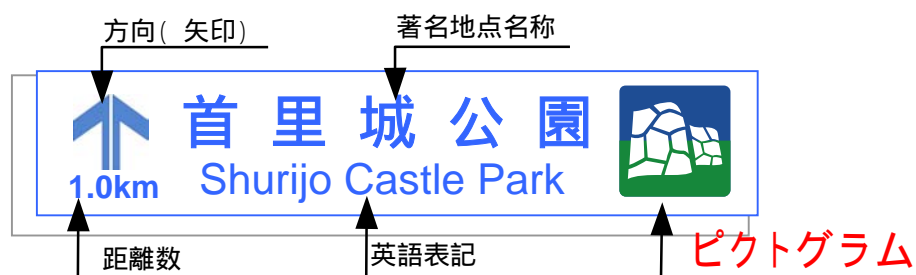
表示板との調和に優れた寒色系



← 「海や空 = 希望」の青

← 「大地 = 癒し」の緑

### 2.3 標準ピクトグラム（案）の例



### 3. 著名地点案内システム（案）について

#### 3.1 著名地点案内システム（案）の位置づけ・経緯

増加する観光旅行者へのニーズ、観光立県沖縄としての立場から、より判りやすい道路案内とすべく、大型案内標識を拡充するとともに従来 38 箇所の著名地点標識を約 300 箇所に拡充してきましたが、著名地点の案内について国道・県道・市町村道との連携が不十分なことから、適切な案内経路になっていない状況にありました。

こうした状況において観光客から不満を示す意見もあり、適切な案内経路を選定する基準を定め、「著名地点案内システム」としてとりまとめるため、「沖縄ブロック道路標識適正化委員会」で検討してきました。

今回この著名地点案内システム（案）がまとまり、著名地点を案内する基準が定まりましたので公表いたします。

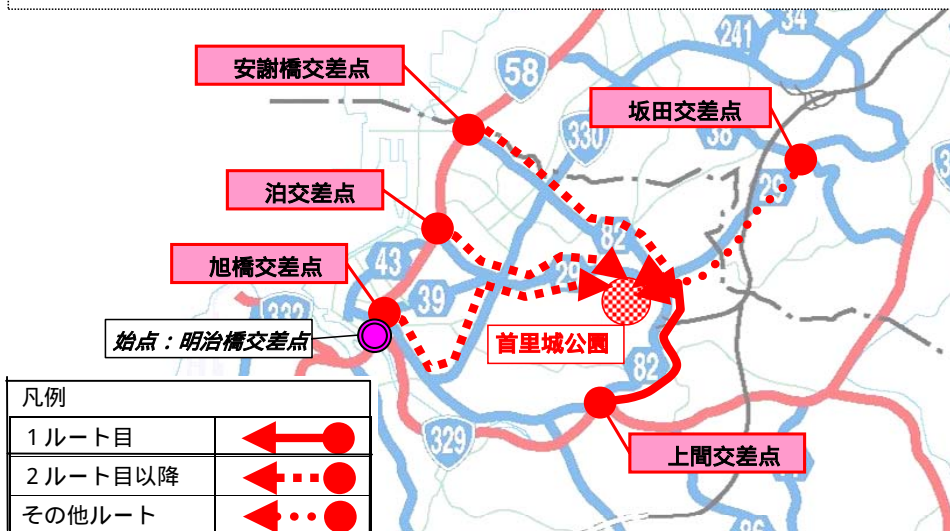
#### 3.2 著名地点案内システムの基本方針

- 案内路線及び著名地点を重要度区分し、案内起点や案内経路の考え方等の設定を行い、わかりやすい著名地点案内システムの構築を図る。
  - 案内路線及び著名地点の重要度区分の設定
  - 案内起点の設定
  - 案内経路設定の考え方
  - 同一標識における著名地点の複数箇所案内の優先順位の設定
- 目標地と重複する著名地点について、114 系著名地点案内標識(106・108 系標識含む)の設置の考え方を明確にする。

#### 首里城を案内する場合

【案内経路設定】(原則として4ルート以下)

- 著名地点より一番近い、上間交差点を案内起点とするルートを設定。
- 2～4. その他3ルートとして、始点(明治橋交差点)から近い順に、旭橋交差点、泊交差点、安謝橋交差点を案内起点とするルートを設定。
5. 補足的なルートとして、上記の4ルート方向以外からのルートである、北東方向の県道29号線上において、経路距離が一番近い坂田交差点からルートを設定。



#### 4. 今後の整備方針について

道路案内標識ローマ字表示基準（案）及び道路案内標識標準ピクトグラム（案）、著名地点案内システム（案）に伴い、平成 15 年度から概ね 5 年以内を目途に整備を図っていきます。

#### 5. ホームページによる公表

「道路案内標識の改善について」は、平成 15 年 3 月 28 日（金）から「沖縄総合事務局道路 I R サイト記者発表一覧」のトピックスでご覧になれます。

ホームページのアドレスは、<http://www.road.dc.ogb.go.jp/ir/index2.html> です。

なお、在沖外国人の方々に向けて、本基準（案）作成の委託機関である（社）沖縄建設弘済会技術環境研究所のホームページ（<http://www.okikosai.or.jp/sign/>）においても今月末に公表を行う予定です。

#### \* 沖縄ブロック道路標識適正化委員会

委員長：沖縄総合事務局開発建設部長 溝内 俊一（みぞうち としかず）

委員：沖縄総合事務局開発建設部、沖縄県土木建築部、日本道路公団沖縄管理事務所構成